

## 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議（平成27年度第2回）

### 結果概要

日時：平成27年8月31日（月）午後3時30分～午後5時

場所：ホテルモナーク鳥取 4階「大山の間」

出席者：別紙のとおり

#### ○報告事項

##### ➤ 予選審査結果について（資料1）

7月29日（水）に開催した予選審査の結果、応募のあった47チームの中から本選に出場する20チームが決定したことを報告した。

##### [委員からの質問]

- ・予選審査で減点されたチームがあるが、動画の撮影方法は事前に案内していたか？（大杉委員）  
⇒ 予選審査の審査基準で動画の撮影方法を定め、この基準を示してチーム募集を行った。

#### ○議題

##### ➤ 議案第1号「第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について」（資料2）

現時点の実施計画（案）を提案。委員から提案のあった以下の点について、導入又は今後検討することで、実施計画（案）は承認された。

##### [委員からの提案内容（導入又は今後の検討）]

##### (来場者への配慮)

- ・来場者向けに周辺駐車場（有料駐車場を含む）の案内マップを作成すること。（諸家委員）
- ・米子市役所駐車場の無料時間を6時間より延ばすことはできないか？また、米子ふれあいの里の駐車場を無料駐車場として解放できないか？（山内委員）  
⇒ 米子市役所駐車場の無料時間は、各種行事において米子市が統一的な取扱いをされており、無料時間の延長は難しい。米子ふれあいの里の駐車場の件は、米子市に確認したい。
- ・千人規模の会場と聞いていたが、（一般観覧者の）入場者数が約5百人となっている。満員御礼で入場制限がかかった場合に備え、屋外モニターを設置するなどの対策が必要。（国広委員）  
⇒ 昨年の会場（ふれあい会館）では空き会議室を利用してサテライト会場を設置したが、今年の米子市公会堂には適当な会議室がなく、昨年と同様の対応が難しい。我々も頭を悩ませているところ。何らかの対応ができないか検討はしてみたいが、約束はできない。
- ・受付等に配置される手話通訳者を視覚的に識別しやすいような工夫が必要。（田中委員）

##### (出演者への配慮)

- ・演技前の準備制限時間（1分）の超過は減点対象であり、出演者は準備の開始・終了時に舞台監督とやりとりする必要があるため、リハーサル時に舞台監督の位置等を確実に説明すること。（藤田委員）
- ・聾学校の生徒は、（聞こえないので）舞台裏で待機している時に舞台の様子が分からない。例えば、舞台裏に舞台映像を流すモニターを置くなどをして、舞台の様子が分かるように配慮してほしい。（廣田委員）
- ・タイムキーパーが演技の制限時間の15秒前に残り時間を表示することになっているが、遅すぎると思うので、30秒前に表示するといった検討をお願いしたい。（藤原委員）  
⇒ 修正する必要があるか再検討してみたい。

##### (大会運営面における人員体制)

- ・手話スタッフは業務内容に合わせて適切な人材を十分に配置すること。必ずしも手話通訳者でなくてもよい業務については、全通研や手話サークル、手話のできる高校生に頼む方法もある。（諸家委員）
- ・タイムキーパーが県職員2人体制（計測1人、時間表示1人）で十分か再検討されたい。演技の得点に影響する重要な役割であり、余裕を持たせて最低でも3人体制とすべき。（山内委員、小椋委員）
- ・災害発生時も視野に入れ、余裕のある人員配置としておくことが望ましい。全体統括（運営統括）は、常に全体の進行状況に注意を払い、何かあればすぐに対応できるようにしておくこと。（小椋委員）

### (その他)

- ・災害発生時に聴覚障がい者らが円滑に避難できるよう、避難誘導方法を運営班別にマニュアル化しておいた方がよい。(大杉委員)
  - ⇒ 今後、作成する運営マニュアルにおいて、災害発生時の対応方法についても記載する予定。
- ・公式Facebook で出演者、観客全員で公式テーマソングを歌唱しようという趣旨の呼び掛けがされていたが、歌唱することに抵抗を覚える者もいる。(大杉委員)
  - ⇒ 公式テーマソングは出演者とともに手話を交えて歌唱する予定であり、スクリーンに歌詞の字幕と手話を表示することになっているが、観客の歌唱を強制するものではない。Facebook の記事は誤解を与える表現であったため、以後、注意する。

### [委員からの質問]

- ・当日、リハーサル室でリハーサルを行うことは可能か？(藤田委員)
  - ⇒ 当日、会場3階のリハーサル室は出演順に利用可能とする予定。なお、リハーサル室以外にも、中庭などの空きスペースを利用して練習をしていただくことも可能。
- ・現時点の実行委員会の収支状況は？(廣田委員)
  - ⇒ 現時点で県内企業を中心に82万円の協賛金をいただいております、それと日本財団の助成金、6月補正の単県負担金をあわせて4千数百万円の収支規模となる見込み。
- ・入賞チームの副賞は決まっているか？(廣田委員)
  - ⇒ 現在、検討中であり、決まり次第、皆様にお伝えする。

### ○その他

#### (1) 「HANDSIGN SCHOOL PROJECT」について(資料3)

今後の日程について、事務局から説明。(委員から特に意見なし)

#### (2) 今後の日程について(資料4)

今後の日程について、事務局から説明。(委員から特に意見なし)

### 【会議の様子】

